



5つの基本目標

「スター戦略」の名称は、幸せを象徴するとされる五角形（スター）に由来しています。この五角形は市民一人一人の幸せを構成する要素を表しており、その要素に基づいて5つの基本目標を設定し、各種事業に取り組みます。

守る

災害がなく、
どこに住んでいても、
将来もずっと
「安心して暮らせるまち」

治水対策

健康・生きがいきづくり推進

地域防災力向上

暮らしやすい住環境整備

稼ぐ

魅力的なしごとが
たくさんある、
「働きがいのあるまち」

企業誘致推進

中小企業・創業支援

柔軟な働き方の推進

農林業の振興

育む

安心して
子育てができ、
誰でも学べる
「成長を支えるまち」

文化・スポーツ振興

学校誘致推進

多様な学びの支援

子育て・家庭支援

彩る

魅力あふれ、
訪れる人が絶えない
「交流しにぎわうまち」

交流人口の増加

効果的な情報発信

男女共同参画推進

多文化共生の推進

つなぐ

地域の自然や特色を
大切に受け継ぐ
「未来へ続くまち」

地域コミュニティ活性化

公共交通の整備

移住定住促進

ゼロカーボン推進

小松政
武雄市長

地方創生が全国で叫ばれる中、いかに人口減少を食い止め、持続可能で活気あるまちをつくるかということは、市に課せられた最大の使命です。

本戦略の策定にあたっては、市民の皆さまと共に今後も住み続けたい、働き続けたい、訪れたいまちであるために、私たちができることを考えてきました。

そこでは、治水対策や、子育て環境や福祉の充実、周辺部対策、人や地域のつながり強化などが重要であることを再認識しました。皆さまからいただいた地域課題へ対応していくとともに、観光、文化、自然などあるものを活かし、まちの魅力を伸ばし、武雄が持つポテンシャルを最大限引き出していまいります。

この戦略をすべての事業の最上位計画に位置付け、市民一人一人が幸せに暮らすまちの実現と持続可能な未来を目指し、様々な施策に全力で取り組んでまいります。

スター戦略本編および人口ビジョンは、
こちらに掲載しております。



第03期 策定プロセス・考え方

POINT

1

人口推計を踏まえ策定

武雄市の人口は、現在(2025年3月末時点)約4.7万人ですが、35年後(2060年)に約3.2万人まで減少すると見込まれています。人口減少対策は喫緊の課題です。

※国立社会保障・人口問題研究所推計準拠

※年齢や地域別に分析した資料を「武雄市人口ビジョン」として策定

POINT

2

市民意見を反映

地域の現状やニーズに基づいた計画となるよう、ワークショップやヒアリングなど、様々な形で市民の意見を聞き取りました。

- ・市民ワークショップ
(武雄のまちづくり未来会議 延べ127名)
- ・関係団体等へのヒアリング(約70団体)
- ・武雄市まち・ひと・しごと創生推進懇話会
(市民代表に加え産・官・学・金・労・言・士等の代表18名)



市民の
意見
(抜粋)

- ・2度の水害を受け、不安な住民が多いと思うため、治水対策を早期に完了する必要がある。
- ・歴史や文化を知る事が、住み続けたい、訪れたいという思いにつながるのではないかと。
- ・観光地としての充実、人が集まる環境づくりが必要。
- ・若者が働きやすい企業の誘致をお願いしたい。
- ・区役の継続が困難になってきているため、地域への支援が必要。

POINT

3

新たに重視する視点

人口推計や市民意見を踏まえ、
今後のまちづくりにおいて、5つの視点を重視します。



① 市民総活躍

障がい者の雇用促進や高齢者のデジタル活用支援などを通じて、すべての市民が自分の能力を活かして活躍できる環境づくりに取り組みます。



② 女性・若者目線

女性や若者に「ここで暮らしたい」と思ってもらえるよう、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりや、学びやキャリア支援を充実させます。



③ 多文化共生

外国人の方にも安心して過ごしてもらえるよう、武雄市の伝統や地域資源を大切にしながらも、多様な価値観の尊重や環境づくりを進めます。



④ 地域特性を活かしたまちづくり

市内どこに住んでいても、ずっと安心して暮らせるよう、地域の特徴やニーズを踏まえ、各地域の魅力を活かした、持続可能な地域をつくります。



⑤ 下位計画との連携強化

この総合計画を基盤として、各分野の計画や取り組みの連携をより深め、武雄市全体のさらなる発展につなげます。